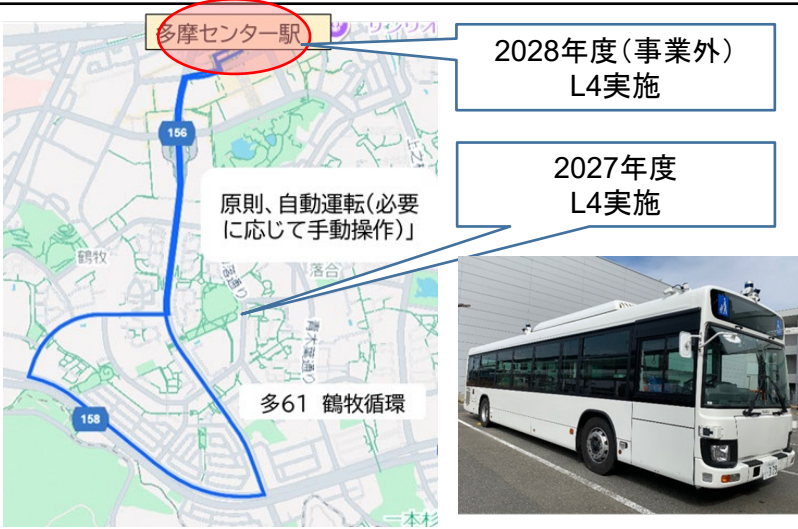


事業概要【芹ヶ谷公園“芸術の杜”推進事業】

申請者	東京都町田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,482,567千円 (14,300千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・芹ヶ谷公園を“芸術の杜”というテーマのもと、まちなかから繋がる緑あふれるゆとりの空間として、より多くの方から親しみ愛されるよう、アート体験棟（交付対象）、美術館（交付対象外）と公園の整備（交付対象外）を進める。 ・「体験型の公園」としてさらなる魅力向上を図り、新たな賑わいや交流、経済的な価値だけでは測れない潤いや豊かさを生み出し、市全体の居心地のよさによるブランド価値の向上に貢献することで、2040年の将来人口400,000人以上の維持を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 公園と美術館等を一体的に運営することで、公園という市民に開かれた身近な空間が、多様なアートに親しむ入り口となることを目指している。例えば、美術館での美術品の鑑賞に留まらず、本公園の空間と一体となった参加型のアートプログラムなどが公園の様々な場所で展開されるなど、公園の豊かな自然を感じながら多様なアート活動に五感を通じて触れられる体験を提供することで“ここならではの”価値の創出を目指す。</p> <p>【拠点整備事業経費】 公園内に「(仮称)公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟」を整備・施設整備 14,300千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>大学や地域団体等と連携し、利用者の増加や地域住民の関係性構築につながるイベント、ワークショップ等を実施する。 地域住民等と連携し、意見を聞き、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口（対推計人口増加分）（+336人） ②園内イベント（ワークショップ等）の参加者数（+712人） ③多様な主体による「(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟」の施設利用率（+62.75%） ④市内で文化芸術活動に触れる機会を持つことができた市民の割合（+12%件）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【多摩市自動運転バス社会実装によるバスネットワーク維持・確保事業】

申請者	東京都多摩市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	159,435千円 (65,145千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	<p>当市は、都心への良好なアクセスを活かし、大都市郊外のベッドタウンとして成長してきたが、丘陵地にあるニュータウン地区では少子高齢化と人口減少が顕著となっている。自動運転バスの導入を通じて、市民にとって必要不可欠な路線バスの維持・確保を図ることで、少子高齢化や人口減少が進む中でも都市の活力と魅力を維持することを目的とする。</p>						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動運転バスにとっての走行環境に恵まれた多摩ニュータウンにおいて、大型の自動運転バスを導入することにより、輸送量の向上を図るとともに、安定・効率的な運行による渋滞緩和交通網の維持・環境負荷を低減することによって、バスネットワークの維持・確保を行う。 大型の自動運転バスの運行により幹線交通を確保することにより、その他の路線に、不足する乗務員を再配分し、支線交通を維持することで、地域全体の交通網を確保し、まちの回遊性や人々の交流を促進する。 <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメント費 31,325千円 労務費 19,991千円 自動運転車両費（リース） 9,900千円 その他（システム関連費、設備関連費、車両関連費等） 						
地域の多様な主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> 民間バス会社による循環系統かつ道路環境が自動運転走行に最も適する路線にて実証を行い、課題の洗い出しと実証エリアの受容性醸成に取り組むとともに、民間企業による自動運転技術を開発・向上をするとともに、改造車によらない市販の自動運転車両の開発のコスト削減を行う。 民間バス会社及び民間事業者、地元大学と連携して、運行実績及びアンケート調査を実施し、収集・現地対応・分析により効果測定を行う。 認知拡大・利用促進では、地元大学と連携し、小学生を対象とした自動運転に関する出前授業や市民参加型イベントなどの企画検討・実施する。 					KPI <small>(★は必須KPI)</small> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> 将来展望人口（目指すべき将来人口）の増加人数（+51人） 自動運転走行率（+85%） 自動運転車両の乗車人数（+4,800人）

事業概要【瑞穂町自動運転移動サービス実装事業】

申請者	東京都瑞穂町				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	318,377千円 (128,717千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 生活環境の創生
目的・効果	自動運転技術の導入により公共交通を再編する。これにより、運転士不足への対応、交通事故の減少（安全性の向上）ダイヤの改善、運行頻度向上等を進め、持続可能かつ利便性の高い公共交通網を形成する。地域住民のみならず、通勤・通学者の交通利便性やモルール延伸部における新たなまちづくりの効果を高め、町の発展に寄与することを目指す。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○燃料費・電気代 191千円 ○自動運転システム保守・運用費 5,390千円 ○車両調律費 2,068千円 ○運営経費 12,727千円 ○リスクアセスメント費 1,540千円 ○その他 2,301千円 <p>【施設整備・事業設備・備品経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車両購入費 104,500千円 					
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度向上、社会的受容性の向上等のため、大学、町内小学校等と協働し、出前講座、アンケート等を実施 ・地域包括連携協定を締結した町内の企業にて、イベントの開催、広報・PR活動の協力等、協働のまちづくりを推進 ・モルール延伸沿線自治体で広域連携したまちづくりを推進 ・町内会と連携した出張説明会等 				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★①瑞穂町の人口 (-175人) ②コミュニティバス乗車人数 (+7,500人) ③自動車保有台数 (-323台) ④自動車による人身事故件数 (-3人) ⑤乗車後の自動運転サービスへの印象のうち、安心・やや安心の割合 (+22%)